



自ら Plug-in! 新たな学び を Charge! 教職員の学びを子どもの学びと相似形に

教育センターだより

令和7年6月6日発行
北九州市立教育センター
TEL 641-1775
FAX 641-1833
【ホームページ】
<http://www.kita9.ed.jp/educctr/>
【Eメール】
admin@educctr.kita9.ed.jp

【特集】年間を通じた「実践型研修」について

対象：新任講師、二年次・三年次・七年次・十年次教諭



本年度の実践型研修のテーマ —「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実—

今年度も、年次等研修の選択研修で教科等研修 A・B を受講する先生については、年間を通じて、単元や題材などの内容や時間のまとまりを見通しながら、計画（P）、実行（D）、評価（C）、改善（A）のサイクルを繰り返す「実践型研修」を位置付けています。

※教科等研修 B については、一部テーマが違う研修があります。

年間の研修の流れを把握し、計画的に取り組みましょう。



年間を通じた実践型研修の流れ

※ 報告書にまとめる必要あり

4月 ～ 7月	1 であう 	① 各校の学校経営方針やスクールプランを確かめる。 ② 自ら学び、年間を通じて実践する。研修を選ぶ。(教科等研修から) ③ 事前動画 で学ぶ。
	2 ためす 	① 【実践1】 を行う。 ② 成果と課題を明確にする。
夏季休業中	3 出し合う ねり合う 	① 教科等研修(A・B) に参加する。 ② (3)まで記入した報告書を持参する。 ③ 授業改善の視点を学び、練り合う。
9月 ～ 12月	4 生かす 深め合う 	① 【実践2】 を行う。 ② 校内 OJT 体制を生かして、学びを深め合う。 ※ 授業実践における指導主事派遣依頼(学校力向上支援訪問)の効果的な活用等
	5 まとめ合う つなぐ 	① 年間を通じた 授業実践報告書 で成果と課題を振り返る。 ② 次の年次やキャリアステージへの展望をもつ。

動画については、Plant から選択した教科等の研修にアクセスし、視聴します。

授業実践報告書については、Plant から各年次研修の選択研修にアクセスし、該当のものをダウンロードします。

夏季休業前までに必ず授業実践を行い、成果と課題をまとめておきましょう。実践する機会がない場合は、管理職と相談し、実践する機会を設定してもらいましょう。

持参物や資料等については Plant で確認しましょう。

必ず校務系端末もしくは GIGA 端末を持参してください。iPad は不可です。

夏季休業後は教科等研修(A・B)(集合型)での学びを生かし、二回目の授業実践を行いましょう。

実践後は、「授業実践報告書」の作成を通して、成果と課題を振り返りましょう。

※ Plant で研修を検索する場合は、開催日を令和7年4月1日にする、もしくは、検索条件初期化ボタンをクリックして、検索してください。

